

「思い出の写真」第7回 2012年8月11日 森野善右衛門先生を講師に迎えての講演会

平口 哲夫

2012年8月11日(土)17:00～18:20、竹中歯科医院3階チャペルにて金沢犀川ワイズメンズクラブ8月第一例会の第一部「講演会」(講師:森野善右衛門先生、演題:平和の創造 カント・ボンフェッファー・憲法九条をめぐる)を開催。講演会終了後に撮影した記念写真には、2023年7月から2024年10月にかけて相次いで天に召された森野先生(前列座席右から5人目)、山村欣造兄(その右後ろ)、勇文人先生(森野先生の左隣り)のお姿が写っています。

2024年6月22日(土)召天の山村兄は、私が金沢市立野田中学校2年生のときに演劇部の1年先輩の藤田英典兄(写真最後列右から2人目)に誘われて通うようになった若草教会CSの中学・高校生合同夏期修養会で、当時、石川県立二水高校生だった山村兄とご一緒して以来の先輩ですので、『すなどり』に追悼文を寄稿しようと情報を集めていました。その最中、若草教会の若樹会(高校生の会)で活動を共にして以来の旧友・竹中丈晴兄(写真最後列右から3人目、現在は金沢独立キリスト教会の会員)から、森野先生が前年の7月31日に逝去という訃報をウェブサイト掲載の『教団新報』(2024年1月27日発行)「事務局報」で知ったというメールがあり、驚いて確認した次第。それまで若草教会のどなたも森野先生の訃報を知らなかったようですから、若草教会の二代目牧師の逝去なのに、なぜ訃報が1年近く遅れて届くことになったのかと、首をかしげているうちに、なんと若草教会前牧師の勇先生が2024年10月2日(水)に逝去という訃報がもたらされたのです。

このような経緯があるので、山村兄への追悼文を寄稿する前に、この「思い出の写真」を『すなどり』に掲載させていただくことにしました。できれば後日、森野先生や勇先生にも『すなどり』を介して追悼文を捧げたいと思っております。「できれば」と記したのは、神様の「思し召し(摂理)」には人知では計り知れないところがあるからです。

私は1997年度から8年間、日本セトロロジー(鯨類学)研究会の三代目代表を担当、2005年度に山田格(タダス)博士(国立科学博物館動物研究部主任研究官)が四代目の代表に就任。2024年5月に山田代表から、2023年に亡くなったEwan Fordyce博士(ニュージーランドの元オタゴ大学地質学部教授)の追悼文に掲載する写真についての問い合わせがあり、5月24日に3度返信。ところが、その4日後の5月28日に山田代表が亡くなられたという訃報の第1報がお仲間から届いたのです。山田代表は入院中の病床で追悼文を執筆なさっていたということを私が知ったのは、山田代表の訃報があってからでした。2025年4月4日に80歳の誕生日を迎えた私、追悼文を書いているうちに召されてしまうということもあり得るかな。

